

金沢大学 産学官・知財関連 レポート

2014

金沢大学 産学官・知財関連レポート 2014 目次

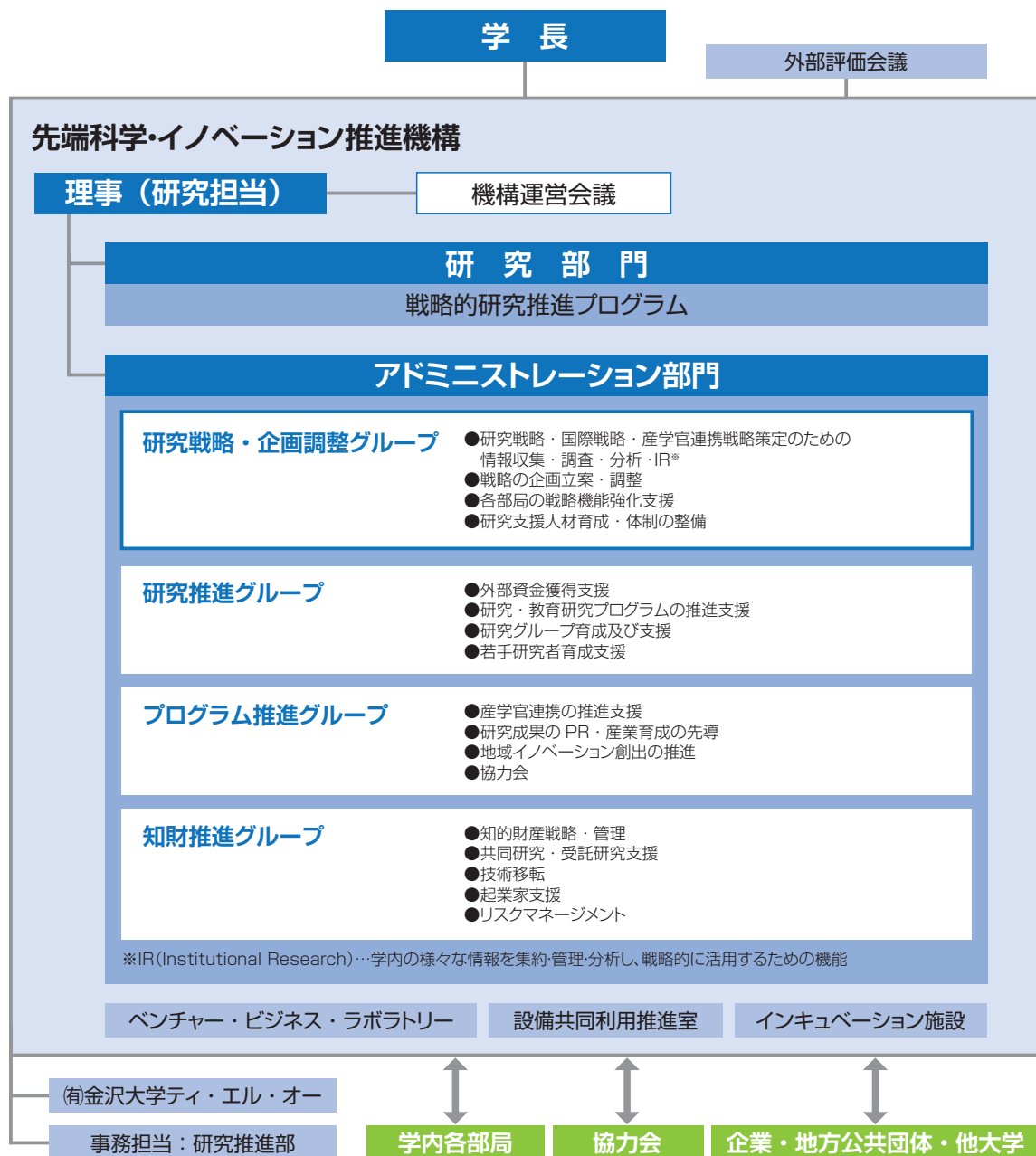
1. 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構について	1
・ 組織図	1
・ 機構スタッフ	2
2. 共同研究について	3
・ 共同研究件数（年度別）	3
・ 平成25年度 分野別共同研究の状況（215件）	3
・ 各大学の共同研究実施件数及び研究費受入額（平成24年度）	4
※文部科学省「平成24年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋）	
3. 平成25年度 共同研究一覧	5
4. 特許出願について	9
・ 発明届出・特許出願件数（年度別）	9
・ 平成25年度 特許出願 分野別内訳（53件）	9
5. 平成25年度 公開特許出願一覧	10
6. 特許実施許諾について	11
・ 実施許諾契約件数（年度別）	11
・ 実施料収入額（年度別）	11
・ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（平成24年度）	12
※文部科学省「平成24年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋）	
7. 研究成果有体物の譲与・受入状況	13
・ MTA 譲与（年度別）	13
・ MTA 受入（年度別）	13
8. ご案内	14
・ 技術相談について	14
・ 協力会会員企業向け支援について	14
・ 共同研究について	16
・ 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご案内	19

1. 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構について

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構は、部局等を超えた学際的融合新領域の創出により金沢大学の教育研究の一層の高度化を推進し、かつ基礎研究から応用研究まで一貫した研究支援と産学官連携による研究成果の社会還元を促進し、もって本学の教育研究の活性化と社会貢献に資することを目的としております。

組織

本機構は、理事（研究担当）を機構長として、重点研究プログラムを含む研究部門と、研究支援を担当するアドミニストレーション部門で構成されます。



機構スタッフ紹介

機構長

向 智里 (理事 (研究担当)・副学長)

副機構長

中西 義信 (学長補佐・教授)

廣田 英樹 (学長補佐・特任教授)

アドミニストレーション部門

グループ名	主担当	副担当
研究戦略・企画調整グループ	鳥谷 真佐子 (特任助教)	稲垣 美幸
* グループリーダー 中西 義信 (学長補佐・教授)	市野 進一郎 (博士研究員)	鈴木 友
* サブリーダー 鳥谷 真佐子 (特任助教)	米田 洋恵 (専門職員)	直井 隆浩
	薛 芸 (博士研究員)	佐々木 隆太
研究推進グループ	稲垣 美幸 (助教)	渡辺 良成
* グループリーダー 廣田 英樹 (学長補佐・特任教授)	鈴木 友 (博士研究員)	鳥谷 真佐子
* サブリーダー 稲垣 美幸 (助教)	佐々木 隆太 (博士研究員)	安川 直樹
		直井 隆浩
		渡辺 奈津子
		澤村 奏絵
		平子 紘平
		米田 洋恵
		薛 芸
コーディネート推進グループ	安川 直樹 (特任助教)	分部 博
* グループリーダー 渡辺 良成 (教授)	平子 紘平 (特任助教)	鈴木 友
* サブリーダー 安川 直樹 (特任助教)	直井 隆浩 (博士研究員)	佐々木 隆太
		渡辺 奈津子
		澤村 奏絵
知財推進グループ	渡辺 奈津子 (研究員)	渡辺 良成
* グループリーダー 分部 博 (准教授)	澤村 奏絵 (研究員)	平子 紘平
		稲垣 美幸

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー ラボ長 玉井 郁巳 (教授)

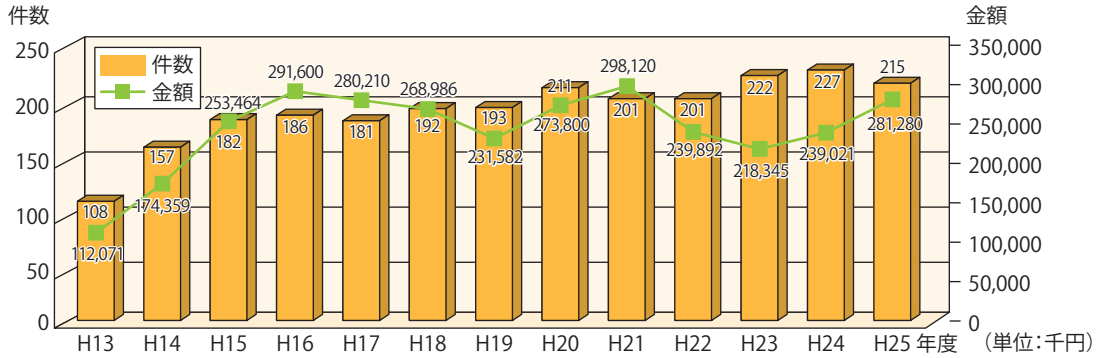
インキュベーション施設 施設長 玉井 郁巳 (教授)

設備共同利用推進室 室長 中西 孝 (特任教授)

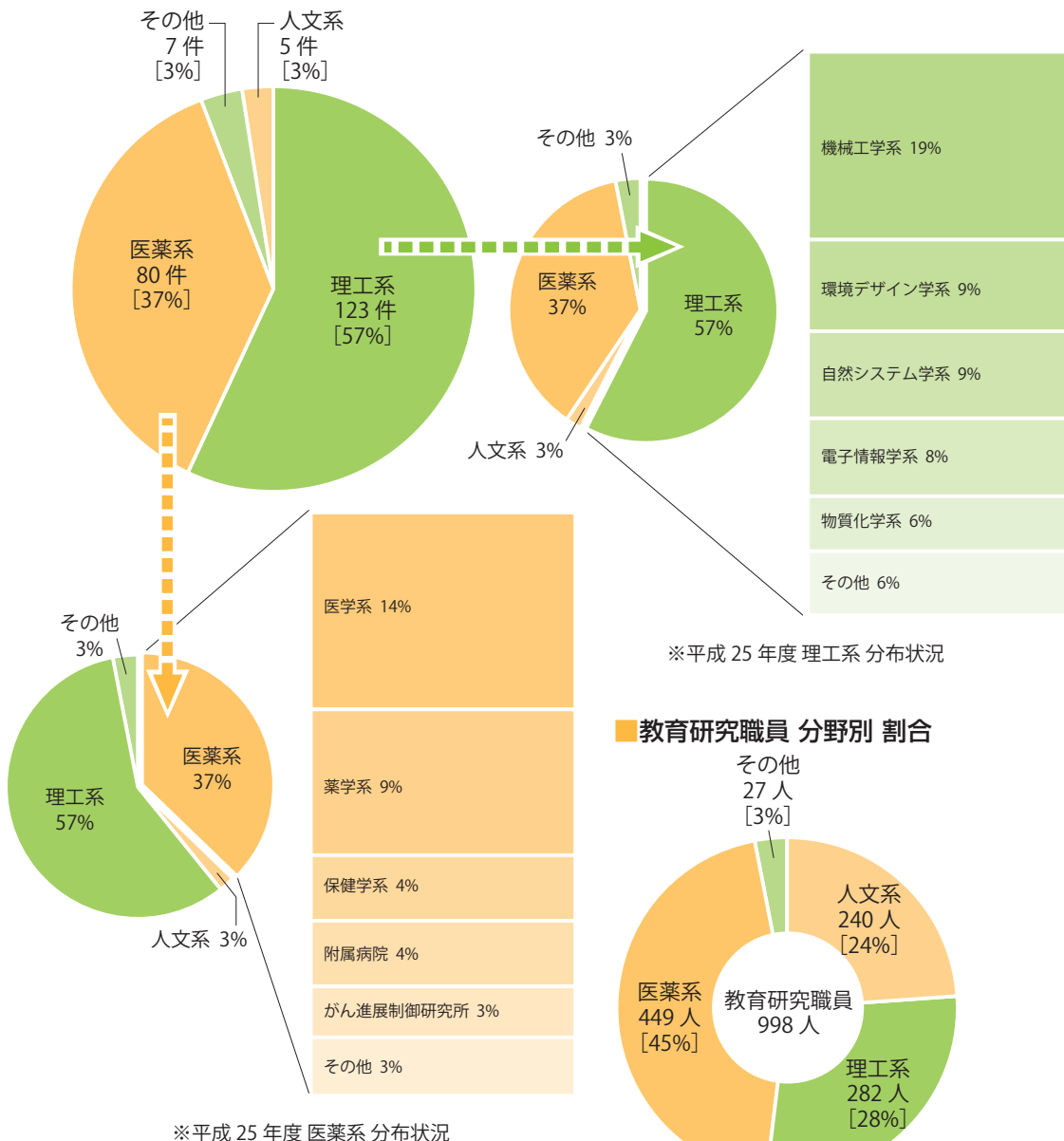
2. 共同研究について

本学での平成25年度の共同研究件数は215件で、内57%が理工系、37%が医薬系に関連しております。

共同研究件数（年度別）



平成25年度 分野別共同研究の状況 (215件)



■各大学の共同研究実施件数及び研究費受入額（平成24年度）

（公的機関との共同研究は含まず）

■民間企業との共同研究実施件数

No.	機関名	件数	区分
1	東京大学	1,207	
2	大阪大学	825	
3	京都大学	800	
4	東北大学	709	
5	九州大学	536	
6	東京工業大学	454	
7	北海道大学	402	
8	名古屋大学	391	
9	慶応義塾大学	344	私
10	広島大学	318	
11	神戸大学	292	
12	千葉大学	266	
13	信州大学	265	
14	大阪府立大学	252	公
15	筑波大学	246	
16	三重大学	235	
17	名古屋工業大学	220	
18	金沢大学	218	
19	早稲田大学	213	私
20	東京農工大学	211	
21	徳島大学	194	
22	岐阜大学	193	
23	静岡大学	190	
24	山口大学	179	
25	岡山大学	178	
26	東京理科大学	174	私
27	横浜国立大学	173	
28	九州工業大学	172	
29	熊本大学	164	
30	電気通信大学	161	
30	岩手大学	161	

※上位30機関

■民間企業との共同研究に伴う研究費受入額

（単位：千円）

No.	機関名	受入額	区分
1	京都大学	3,937,614	
2	東京大学	3,867,943	
3	大阪大学	2,406,742	
4	東北大学	2,290,884	
5	慶応義塾大学	1,533,854	私
6	九州大学	1,327,275	
7	東京工業大学	1,190,930	
8	名古屋大学	1,071,538	
9	名古屋工業大学	860,838	
10	北海道大学	773,380	
11	東京理科大学	506,005	私
12	神戸大学	496,981	
13	広島大学	483,559	
14	早稲田大学	471,900	私
15	千葉大学	399,107	
16	筑波大学	383,774	
17	東京農工大学	378,923	
18	信州大学	357,867	
19	三重大学	336,746	
20	熊本大学	316,246	
21	大阪府立大学	314,936	公
22	岡山大学	288,540	
23	長岡技術科学大学	285,128	
24	徳島大学	276,766	
25	横浜国立大学	233,724	
26	山口大学	232,288	
27	金沢大学	228,644	
28	九州工業大学	215,054	
29	山形大学	206,819	
30	静岡大学	178,321	

※上位30機関

※文部科学省「平成24年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋）
 （注）表中の区分において、無印は国立大学等、「公」は公立大学等、「私」は私立大学等を表す。

3. 平成25年度 共同研究一覧

下表は、平成25年度に契約された215件の産学官共同研究テーマの一部（110件）をご紹介します。共同研究を始める前の予備的検討として、「技術相談」を利用することも効果的です。ぜひ活用ください。また、本欄掲載以外の共同研究対応可能な教員につきましても、ご紹介させていただきますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

215件（公開分110件） （各部署・系の50音順）

研究題目	受入部署	職名	氏名
機械構造部材のX線残留応力測定と疲労強度評価に関する研究	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
X線回析残留応力測定装置のデータ検証	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
電磁誘導検査技術の開発	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
集合組織材の残留応力測定	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
鉄鋼副産物活用による海域環境修復機構の解明	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
微細藻類を用いた製鉄所排水処理用高効率バイオリアクター	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
フライアッシュ高含有ポーラスコンクリートの藻場造成材としての評価及び藻場造成技術の研究	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
高速AFMによる機能性材料の動的解析	理工研究域 数物科学系	教授	安藤 敏夫
ガンマ線カメラの開発	理工研究域 数物科学系	准教授	米徳 大輔
燃料電池電極触媒用カーボン担体の研究開発	理工研究域 物質化学系	准教授	太田 明雄
ヘアカラー用酵素の研究開発	理工研究域 物質化学系	教授	片岡 邦重
有機薄膜太陽電池の低コスト化と高効率化に向けた研究	理工研究域 物質化学系	教授	高橋 光信
重金属の不溶化剤に関する共同研究	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
環境中における放射性物質低減技術の開発	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
鉄分供給に適した腐植酸含有物質の評価技術の確立	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
腐植酸を用いた植物プランクトンの生長促進に関する研究	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
重金属汚染土壌及び廃棄物に対する洗浄方法の開発	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
コンクリートへのアクチニド元素の浸透	理工研究域 物質化学系	教授	横山 明彦
土壌試料測定の効率化	理工研究域 物質化学系	教授	横山 明彦
湿式摩擦材及び自動変速機油に関する基礎的研究	理工研究域 機械工学系	講師	岩井 智昭
ゴルフボールの斜め衝突実験と衝突特性に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	岩田 佳雄
結索機の汎用性拡大に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰
合成繊維紡糸設備内の空気流解析	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰
高速で走行する糸に対するガイド形状と糸品質の関係	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰
結束機への紐の安定供給機構の開発	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職名	氏名
高速回転主軸の低騒音カービックの開発	理工研究域 機械工学系	教授	木綿 隆弘
オリフィス下流の壁面せん断応力測定	理工研究域 機械工学系	教授	木綿 隆弘
磁気粘弾性エストラマに関する研究	理工研究域 機械工学系	准教授	小松崎俊彦
軟式野球バットの研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
飲料用アルミ容器の成形性と人間工学的設計に関する研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
CNC旋盤の熱変形に関する研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
ギヤの熱処理ひずみと省エネ型熱処理プロセスに関する研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
急激な荷触れの事前検知警告装置の開発	理工研究域 機械工学系	教授	関 啓明
後付け式のシート掛け装置の開発	理工研究域 機械工学系	教授	関 啓明
災害支援を目的とした自律航行／計画航行システム搭載回転翼機に関する基礎研究	理工研究域 機械工学系	准教授	得竹 浩
車両運動制御	理工研究域 機械工学系	准教授	得竹 浩
ユニットルーム強度シミュレーション	理工研究域 機械工学系	准教授	樋口 理宏
セラミックス複合材高速加工技術の研究	理工研究域 機械工学系	准教授	古本 達明
高硬度金型内部の留まり穴内面加工に関する研究	理工研究域 機械工学系	准教授	古本 達明
電気接点用銅合金の耐応力緩和特性改善に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	門前 亮一
高断熱高強度パネルの研究開発	理工研究域 機械工学系	教授	米山 猛
背圧を利用した鍛造成形に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	米山 猛
合成繊維の染色品質判定技術の研究	理工研究域 機械工学系	助教	若子 倫菜
靴下編布の着装時における伸長状態計測技術の研究	理工研究域 機械工学系	助教	若子 倫菜
超高速・超小型視線検出イメージセンサとそれをを用いた視線検出システム	理工研究域 電子情報学系	教授	秋田 純一
超高速視線検出機能をもつ携帯端末へ搭載可能なCMOSイメージセンサ	理工研究域 電子情報学系	教授	秋田 純一
CMOS プロセスによる光インターコネクションのための高速・高感度光検出器の研究	理工研究域 電子情報学系	教授	飯山 宏一
プラズマ切断の高性能化の研究	理工研究域 電子情報学系	教授	上杉 喜彦
熱プラズマ照射によるポリマー繊維の耐アーク性検証と耐アーク性繊維の探索試験	理工研究域 電子情報学系	教授	田中 康規
ノズル空間内SF6ガス吹付けアーク減衰過程の電磁流体解析および実験による基礎検討 ～回復電圧印加の影響の検討～	理工研究域 電子情報学系	教授	田中 康規
原料粉体の同期間歇供給法を導入した変調熱プラズマによる金属ドーブ機能性ナノ粒子の大量生成	理工研究域 電子情報学系	教授	田中 康規
医用画像ノイズ除去回路の研究	理工研究域 電子情報学系	教授	松田 吉雄
高性能バッファ回路の構成技術の研究	理工研究域 電子情報学系	教授	松田 吉雄
車載画像認識の技術サーベイ（5テーマ）	理工研究域 電子情報学系	講師	深山 正幸
磁界の可視化における研究	理工研究域 電子情報学系	教授	八木谷 聡

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職名	氏名
防波柵による津波浸水流の低減効果に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	准教授	榎田 真也
凍結防止剤散布の影響下の塩害進行過程を考慮した点検手法の開発	理工研究域 環境デザイン学系	准教授	久保 善司
津波漂流物に対する防波柵の衝突力特性に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	齋藤 武久
鋼橋RC床版の劣化予測に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	近田 康夫
金沢市歴史市街地の消防車通行困難地区と防火水槽の活用	理工研究域 環境デザイン学系	教授	沈 振江
浚渫砂を混合したフライアッシュ高含有コンクリートの製造技術の研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	鳥居 和之
車両荷重検知システム簡素化のための開発	理工研究域 環境デザイン学系	准教授	深田 宰史
橋梁振動発生要因及び伝搬メカニズムの究明と対策効果推計手法の構築	理工研究域 環境デザイン学系	准教授	深田 宰史
防護柵支柱の非破壊試験装置の開発	理工研究域 環境デザイン学系	准教授	深田 宰史
高強度金網を用いたポケット式落石防護網の性能評価に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	前川 幸次
緩衝剤を有するネットフェンスの衝撃挙動に関する解析的研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	榎谷 浩
3次元免震装置の実証実験	理工研究域 環境デザイン学系	助教	村田 晶
石灯笼の耐震安全性評価に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	助教	村田 晶
繊維層フィルタ内でのミスト堆積過程の可視化とミスト除去用新規フィルタの開発	理工研究域 自然システム学系	教授	大谷 吉生
溶接作業現場の環境評価と対策	理工研究域 自然システム学系	教授	大谷 吉生
長寿命化のためのフィルタ構造の最適化	理工研究域 自然システム学系	教授	大谷 吉生
粒子分散評価法の確立と分散メカニズムの解明に関する研究	理工研究域 自然システム学系	教授	大谷 吉生
新規天然型紫外線吸収剤の開発	理工研究域 自然システム学系	准教授	坂本 敏夫
ポリアセタール樹脂 (POM) のレオロジー	理工研究域 自然システム学系	教授	新田 晃平
高分子物性評価技術の評価・検討	理工研究域 自然システム学系	教授	新田 晃平
ゴム材料の引き裂き破壊挙動の解明	理工研究域 自然システム学系	教授	新田 晃平
SGSのNASH予防効果の把握	医薬保健研究域 脳・肝インターフェースメディシン研究センター	准教授	太田 嗣人
皮膚筋炎関連自己抗体検出試薬の臨床的有用性の確認	医薬保健研究域 医学系	教授	竹原 和彦
皮膚筋炎における新規自己抗体検出試薬の基礎性能評価に関する検討	医薬保健研究域 医学系	教授	竹原 和彦
超高解像度液晶ディスプレイの開発	医薬保健研究域 保健学系	教授	市川 勝弘
X線センサーモジュールの評価	医薬保健研究域 保健学系	教授	市川 勝弘
FPD型デジタルマンモグラフィ装置AMULETのW陽極撮影での画像評価	医薬保健研究域 保健学系	教授	市川 勝弘
X線医療画像に対する新規ノイズ除去法の有用性検証	医薬保健研究域 保健学系	教授	真田 茂
手指用プッシュプルセンサー（筋力計）の妥当性に関する研究	医薬保健研究域 保健学系	准教授	西村 誠次
ペースメーカー患者フォローアップにおける遠隔モニタリングと定期通院の有効性と安全性の比較（atHome研究）	医薬保健研究域 保健学系	准教授	古荘 浩司

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

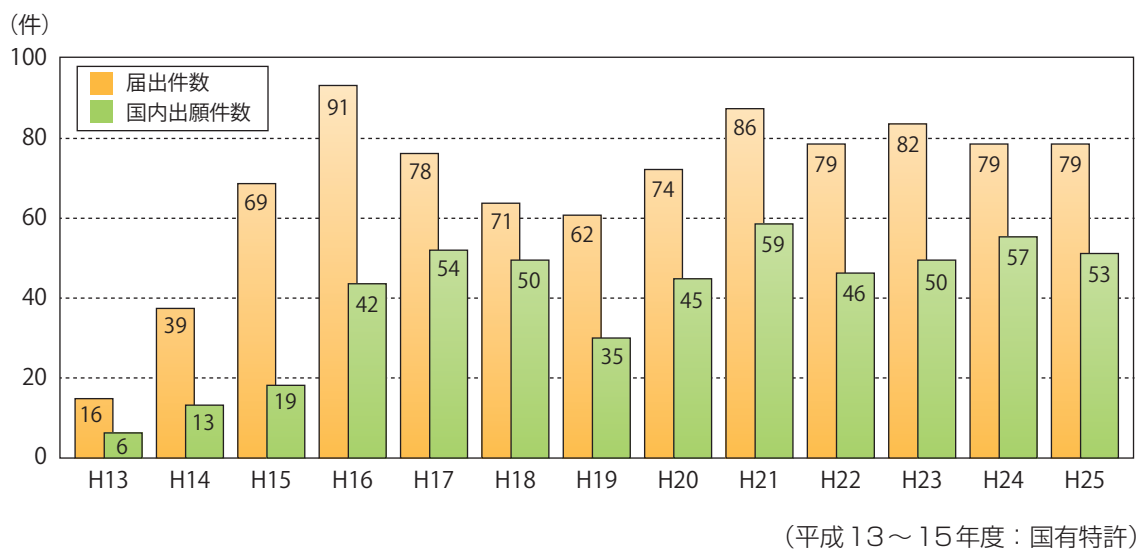
研究題目	受入部局	職名	氏名
中国上海における武田薬品の高血圧症治療剤プロプレス(中国製品名:必洛斯(Blopress))、2型糖尿病治療剤アクトス(中国製品名:艾可拓(Actos))の偽造品流通実態調査	医薬保健研究域 薬学系	教授	木村 和子
グローバルでの偽造医薬品に関連する情報収集、偽造医薬品分析及びその判定方法の研究	医薬保健研究域 薬学系	教授	木村 和子
偽造医薬品対策システムの研究	医薬保健研究域 薬学系	教授	木村 和子
医薬品卸における偽造薬GDPの開発	医薬保健研究域 薬学系	教授	木村 和子
脳画像・臨床・ITの融合によるアルツハイマー病超早期診断と先制医療の実現プロジェクト(J-ADNI2全国臨床研究) ※変更前題目(～H25.3.31): アルツハイマー病診断体系実用化プロジェクト(J-ADNI全国臨床研究)	附属病院	教授	山田 正仁
Investigation of Japanese Bone Morphology with 3D Template of APS Natural Hip System (訳:APS Natural Hip Systemの3Dテンプレートによる日本人の骨形態の調査研究)	附属病院 (医学系)	准教授	加畑 多文
SEA-B26A01(ループス抗凝固因子検出試薬)の臨床性能検討	附属病院 (医学系)	教授	和田 隆志
非小細胞肺癌の増殖因子受容体、シグナル伝達因子における遺伝子変異・増幅と、抗悪性腫瘍薬の効果および予後との関連を明らかにするための臨床研究	附属病院 呼吸器内科	准教授	笠原 寿郎
副腎静脈サンプリングの成功率を高めるデバイスとリーダーの開発	附属病院 内分泌・代謝内科	助教	米田 隆
乳がん幹細胞の代謝工学的解析と機構探索に基づく創薬基盤の創出	がん進展制御研究所	教授	高橋 智聡
HGF蛋白質及びNK4蛋白質を用いた難治性疾患治療法の開発	がん進展制御研究所	教授	松本 邦夫
悪性中皮腫に対する抗GM2抗体の活性評価	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
肺癌におけるTKIの耐性機構の解明	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
イレッサ・ポリノスタット併用療法のためのコンパニオン診断薬の開発	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
好熱性微生物及び発酵産物が植物の免疫活性等に与える遺伝学的影響評価	学際科学実験センター	准教授	西内 巧
天然植物活力液の作用機構の解析	学際科学実験センター	准教授	西内 巧
ウシ対外受精胚の遺伝子レベルでの品質評価	学際科学実験センター	准教授	堀家 慎一
IPv6セキュリティに関する調査研究	総合メディア基盤センター	助教	北口 善明
ユーザ向けIPv6セキュリティに関する調査研究	総合メディア基盤センター	助教	北口 善明
リメディアル教育むけのICT教育用コンテンツの開発	総合メディア基盤センター	教授	佐藤 正英
ICTの教育活用による共通教育法の改善	総合メディア基盤センター	助教	森 祥寛
骨疾患の治療薬の研究開発	環日本海域環境研究センター	准教授	鈴木 信雄
森林に沈着した放射性核種の移動形態に関する研究	環日本海域環境研究センター	教授	長尾 誠也
水中の有害成分の不溶化に関する研究	環境保全センター	准教授	道上 義正
クリッカー(商品名 turning point)を用いた授業内容・授業方法等の改善	大学教育開発・支援センター	教授	青野 透
その他(非公開分)			105件

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

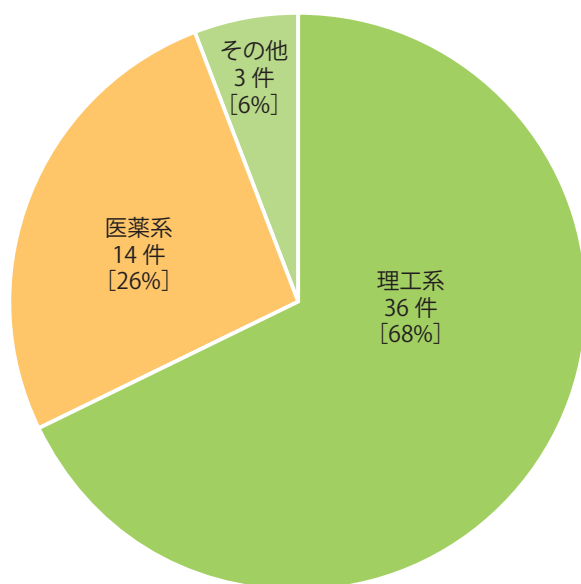
4. 特許出願について

本学での平成25年度の発明届出数は79件、出願件数(共同出願も含む)は53件でした。なお、出願件数の内68%が理工系、26%が医薬系に関連しております。

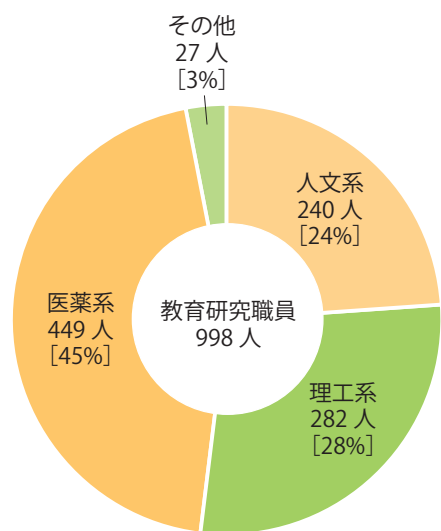
■ 発明届出・特許出願件数(年度別)



■ 平成25年度 特許出願 分野別内訳 (53件)



■ 教育研究職員 分野別 割合



(平成25年5月1日現在)

5. 平成25年度 公開特許出願一覧

下表は、平成25年度（2013年4月1日～2014年3月31日）に公開された特許出願リスト（55件）で、共同出願も含まれます。出願内容は特許庁のIPDL（電子図書館）から見る事が出来ます。

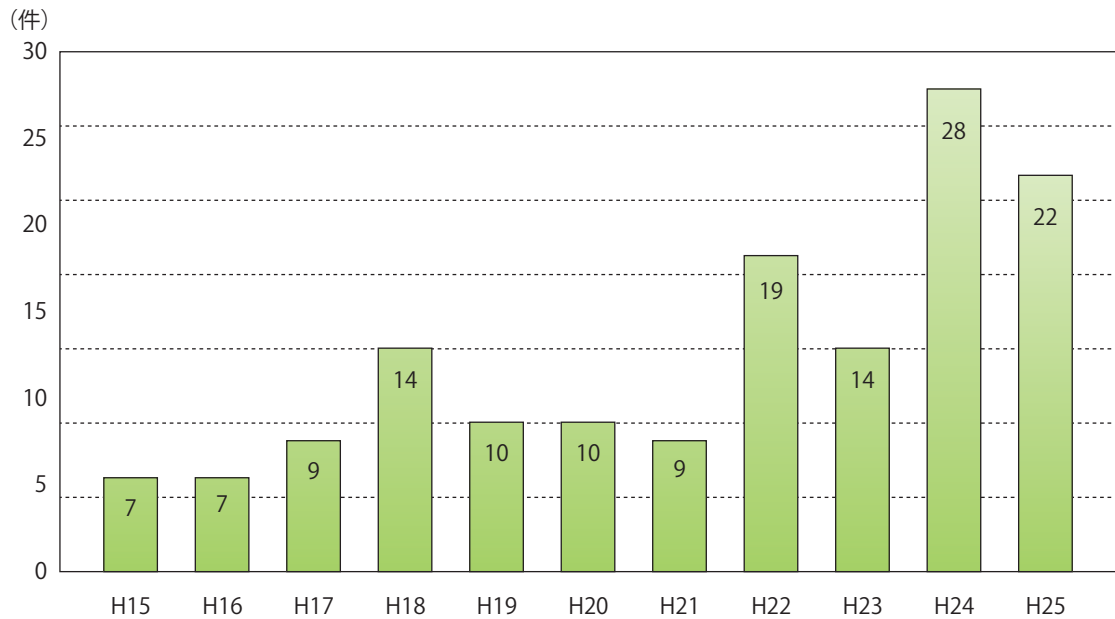
発明の名称	出願番号
ナノファイバーよりなる連続シートの製造方法	特願2011-201939
薬物代謝機能測定方法	特願2011-224666
GPR40 陽性骨髄幹細胞	特願2011-548981
S1P2 受容体アンタゴニストを含む粥状動脈硬化治療薬	特願2011-550000
運転支援システム、運転支援方法、及び、プログラム	特願2011-249916
情報処理装置、及び、情報処理方法	特願2011-247600
柿渋由来のカフェイン吸着用非水溶性ゲル及び該ゲルを使用したカフェイン除去方法	特願2011-252116
投球機	特願2011-261231
発電装置	特願2011-265034
好熱性微生物を用いた混合物、溶解液、及び医薬品	特願2011-553864
データ判定装置およびデータ判定プログラム	特願2011-273040
水酸基保護剤及び水酸基保護方法	特願2012-252453
金属錯体およびこれを有効成分として含有する抗がん剤	特願2012-509616
整流回路	特願2012-515741
乳化重合法及びヒドロゲルの合成方法	特願2012-019218
トリアジン化合物	特願2012-016433
発電素子および発電素子を備えた発電装置	特願2011-546472
薬物と高分子化合物相互作用確認用試薬及び相互作用の検査方法	特願2012-027242
消化管免疫制御組成物	特願2012-031997
ダイヤモンドの表面処理方法	特願2012-032198
放射線量の二次元測定用ディスク及びそれを用いた放射線量測定装置	特願2012-042925
磁性粒子複合粘弾性体及びそれを用いた可変剛性型動吸振器	特願2012-045308
分子イメージングにより代謝機能を測定するための検査薬	特願2012-044231
改変されたマルチ銅オキシダーゼ及びこれを用いたケラチン繊維用染色剤	特願2012-047659
頭痛の判定方法、判定装置並びに判定プログラム	特願2012-049307
免疫抑制乳酸菌組成物及び免疫抑制乳酸発酵食品	特願2012-080127
免疫活性化乳酸菌組成物及び免疫活性化乳酸発酵食品	特願2012-080120
ウイルス感染予防乳酸菌組成物及びウイルス感染予防乳酸発酵食品	特願2012-080116
表面処理方法、及び、表面処理装置	特願2012-061001
AnophelineAnti-PlateletProtein を認識する抗体又は抗体断片	特願2013-031891
黒雲母を用いた希土類元素の濃縮方法	特願2012-075589
ヌクレオチド除去修復阻害剤、抗腫瘍剤および紫外線治療の増強剤	特願2012-094534
肝糖産生モニターマウス	特願2012-095075
高効率充電回路	特願2012-097516
遺伝子発現プロファイルによる、胆道癌の検出	特願2013-164480
ホッケースティック	特願2012-101921
パケットフィルタ回路およびパケットフィルタリング装置	特願2012-107368
Y染色体及びY染色体上精子形成領域の欠失部位の分析方法	特願2013-089854
遺伝子発現プロファイルによる、膵臓癌の検出	特願2013-164414
遺伝子発現プロファイルによる、大腸癌の検出	特願2013-164318
動物由来エキスを有効成分とする、運動時における動体視力の維持、改善または向上のための組成物	特願2012-126216
慢性骨髄性白血病治療剤及びそのスクリーニング方法	特願2012-131328
腹膜偽粘液腫の検査方法	特願2012-134683
消化管免疫調節乳酸菌組成物及び消化管免疫調節乳酸発酵食品	特願2012-136648
振動発電装置及び振動発電装置の設計方法	特願2012-145603
母指及び手指の評価システム	特願2012-148466
X線応力測定方法	特願2012-150939
軸受部品の検査方法および軸受部品の検査装置	特願2012-150642
発電装置	特願2012-155041
不揮発性磁気抵抗メモリ素子、不揮発性磁気抵抗メモリ装置、及び不揮発性磁気抵抗メモリ素子の書き込み方法	特願2012-163254
膵癌診断及び治療効果予測判定バイオマーカー	特願2012-159927
シリカ添着基材及びその製造方法	特願2012-158326
公開鍵暗号システム、送信装置、受信装置、公開鍵暗号方法、プログラム、及び記録媒体	特願2012-168853
寸法測定プログラム、寸法測定装置、及び、寸法測定方法	特願2012-164640
プラズマ生成装置用の電源及びプラズマ生成装置	特願2012-171342

(55件)

6. 特許実施許諾について

平成25年度の実施許諾件数は22件、実施料収入は3000万円弱で全国順位がそれぞれ11位、12位と躍進しております。

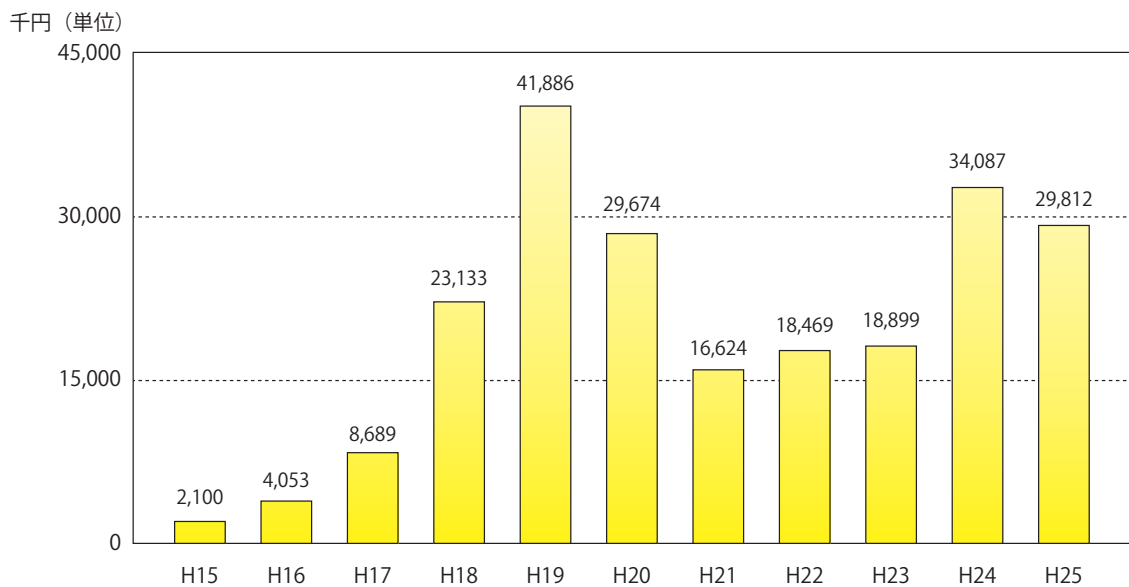
■実施許諾契約件数（年度別）



(平成26年3月末日現在)

■実施料収入額（年度別）

…商標、MTAの収入も含む



(平成26年3月末日現在)

■ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（平成24年度）

■ 特許権実施等件数

No.	機関名	件数	区分
1	東京大学	1,681	
2	東京工業大学	686	
3	京都大学	564	
4	東北大学	429	
5	北海道大学	422	
6	広島大学	352	
7	九州大学	327	
8	慶応義塾大学	312	私
9	日本大学	256	私
10	名古屋大学	247	
11	金沢大学	202	
12	関東学院大学	198	私
13	信州大学	196	
14	名古屋工業大学	176	
15	早稲田大学	153	私
16	大阪大学	152	
17	奈良先端科学技術大学院大学	138	
18	岡山大学	135	
19	静岡大学	110	
20	筑波大学	107	

(契約に含まれる国内、国外特許の総数)

※上位20機関

■ 特許権実施等収入（外国分を含む）

(単位：千円)

No.	機関名	収入額	区分
1	京都大学	257,186	
2	日本大学	220,204	私
3	東京大学	179,314	
4	東北大学	60,807	
5	大阪大学	54,888	
6	九州大学	51,929	
7	神戸大学	48,823	
8	北里大学	48,582	私
9	北海道大学	40,303	
10	熊本大学	38,033	
11	東京工業大学	32,824	
12	金沢大学	32,822	
13	関東学院大学	29,500	私
14	広島大学	28,148	
15	東京医科歯科大学	27,097	
16	慶応義塾大学	20,061	私
17	名古屋工業大学	17,198	
18	奈良先端科学技術大学院大学	14,882	
19	信州大学	13,439	
20	筑波大学	12,769	

(特許のみの収入金額)

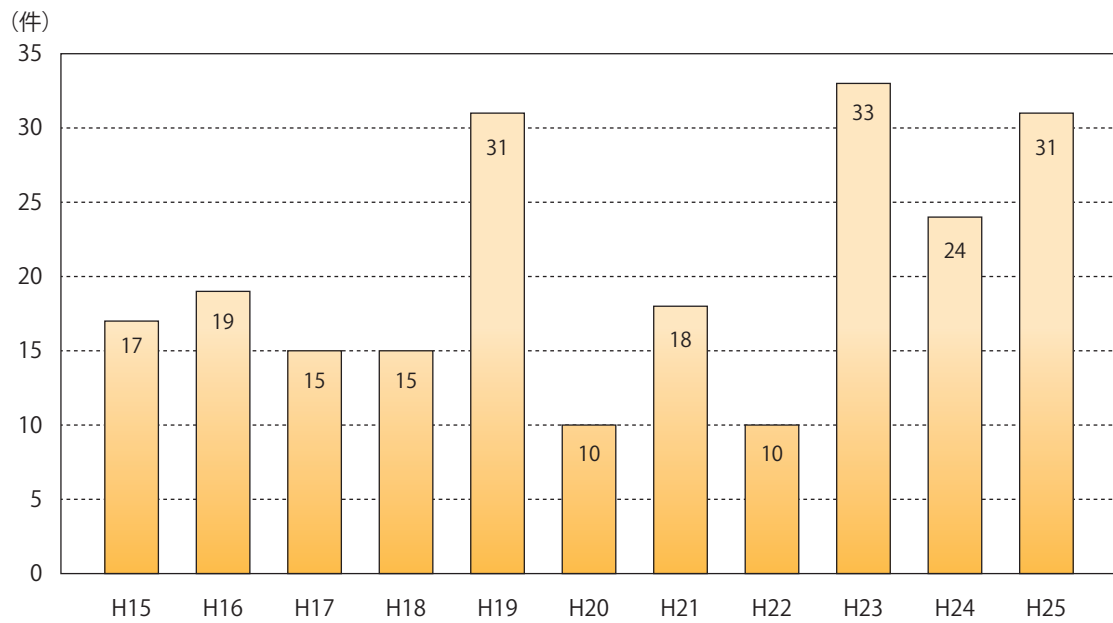
※上位20機関

※文部科学省「平成24年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋）
 (注) 表中の区分において、無印は国立大学等、「公」は公立大学等、「私」は私立大学等を表す。

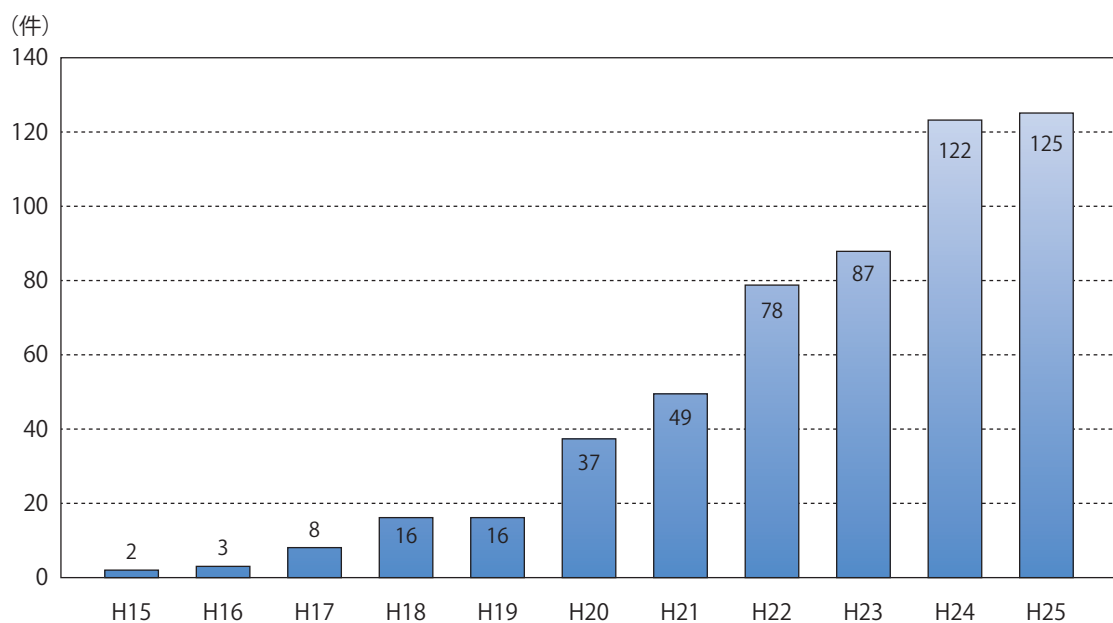
7. 研究成果有体物の譲与・受入状況

研究機関では、研究目的での研究成果有体物の譲与、受入は無償が原則です。本学の、下記データのほとんどがこれに該当します。

■ MTA 譲与（年度別）



■ MTA 受入（年度別）



8. ご案内

技術相談について

本学では、企業様の抱える技術的課題に対するご相談（技術相談）を随時、受け付けております。いつでもお気軽に先端科学・イノベーション推進機構まで、お電話またはE-Mail（o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp）にてご連絡ください。

技術相談のメリットは、企業様にとって、

- ①共同研究に比べ手軽に利用できる
- ②短期間に有益なアドバイスが得られる

又、大学の研究者にとっては、

- ①実用性の高い研究ができる
- ②作業も限定されており、気軽に自分の専門を生かせる
- ③企業様の最近の動向が分かる

と双方にとって、メリットがあるものです。是非有効に活用していただければと思っております。

技術相談の流れ

技術相談は、原則として「1～2時間の面接を2回」予定しております。（相談実費は企業様のご負担）

第1回

研究者とコーディネータが企業の抱えている案件について詳細に伺います。その際、その案件の問題点・解決策・将来性を明らかにすることを目的とし、確認を行います。

研究者はそこで、確認した事項に関し、過去の経験を生かして原因を列挙し、問題点の整理を行います。

第2回

二回目の打合せでは、研究者が整理した、問題点もしくは解決策（アドバイス）について、企業様にご説明いたします。

協力会会員企業向け支援

本学では、「先端科学・イノベーション推進機構協会」の会員企業様向けに、技術相談に対する支援を行っております。

これは、技術相談に係る相談実費の一部（年間3万円限度）を協会が負担するもので、会員企業様には大変有利な制度です。

■協会入会のお問合せ先

金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構協会

〒920-1192 金沢市角間町

Tel：076-264-6111 Fax：076-234-4019

E-Mail：innov@adm.kanazawa-u.ac.jp

ホームページより、各種ご相談及び技術アドバイスサービスの申込を、随時受付けております。申込書のダウンロードも可能です。是非ご利用ください。

■先端科学・イノベーション推進機構協会 <http://www.innov-kyouryokukai.com/>

■先端科学・イノベーション推進機構 <http://www.o-fsi.kanazawa-u.ac.jp/>

技術相談申込書

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構 殿

下記のとおり技術相談を申し込みます。

申 込 者	企業等名				
	所属・職名			ふりがな	
				氏名	
	連絡先	住所	〒		
TEL		()	-		
FAX		()	-		
	E-mail				
アドバイス分野(○で囲んでください) エレクトロクス 環境・エネルギー 機械 材料(ナノ) ソフトウェア 土木建築 ハイ その他() 担当希望教職員名(できれば記入してください)					
アドバイス概要(具体的に記入してください) 問題の背景・狙い: 					
対象範囲: 					
納期・期限: 					
その他: 					
協力会記入欄(※記入しないでください)					
提 出 先	金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 〒920-1192 石川県金沢市角間町 TEL 076-264-6111 FAX 076-234-4019 E-mail innov@adm.kanazawa-u.ac.jp		※記入しないでください 受付日 機構担当教員 相談担当コーディネータ		

共同研究について

企業等の研究者と本学の教員とが共通の研究課題について、対等の立場で共同して研究を行う制度です。

共同研究を行う上で、テーマ・担当教員・進め方等が具体的にお決まりでない場合は、先端科学・イノベーション推進機構に一度ご相談ください。専任教員とコーディネータが、研究者とのコーディネートを担当します。

1. 共同研究の形態

企業等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本学において研究を行うタイプの『派遣型』、本学の教員と企業等の研究者が、共通の研究課題について研究を分担し、それぞれの施設において研究を進めるタイプの『分担型』があります。

2. 共同研究に必要な経費

企業等に負担していただく経費は、次のようになっています。

研究料	企業等の研究者の受入れに必要な経費
直接経費	共同研究に必要な謝金、旅費、消耗品・設備購入費などの直接経費
間接経費	直接経費の5%

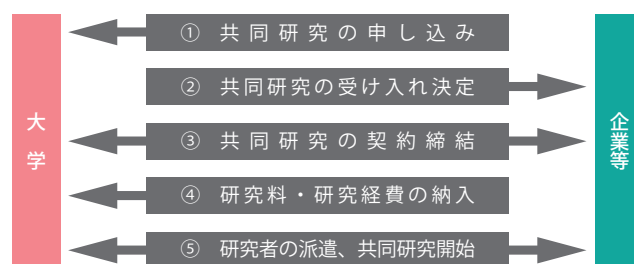
3. 共同研究に使用する施設、設備等

本学及び企業等で、使用する施設、設備の維持・管理に必要な経費（経常経費）は、それぞれが負担します。

4. 本学への申込時期

随時可能です。

5. 共同研究の実施手順



共同研究の「申込書」は、以下のURL どちらからでも、ダウンロードが可能です。

6. お問い合わせ先

共同研究に関するご相談について

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構 知財推進グループ

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL : 076-264-6111 FAX : 076-234-4019 E-mail : o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL : <http://www.o-fsi.kanazawa-u.ac.jp/>

共同研究の手続き・申込みに関するお問合わせ

金沢大学研究推進部産学連携課

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL : 076-264-5904 FAX : 076-234-4012 E-Mail : sangaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL : http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_kyoryoku/co_research/kyodou/kyoudou.html

7. 申込書記入要領

項目1. 共同研究の形態

企業等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本学において研究を行う場合（派遣型）は、「ア」を○で囲んでください。

本学の教員と企業等の研究者がそれぞれの施設において研究を行う場合（分担型）は、「イ」を○で囲んでください。

項目2. 研究題目、項目3. 研究目的及び内容

他の共同研究と重複しないように記入してください。

項目4. 研究期間

希望する研究期間を記入してください。

項目5. 研究に要する経費の負担額（総額分）（消費税及び地方消費税を含む）

直接経費は、共同研究遂行のために、特に必要となる謝金、旅費、消耗品費、設備購入費等の直接的な経費の合計額を記入してください。

間接経費は、直接経費の5%を計上願います。

研究料は、企業等が本学に研究者を派遣する場合に必要な共同研究員研究料を記入してください。

※間接経費の計算例

直接経費が1,000,000円の場合の間接経費の額は、50,000円となります。

$1,000,000円 \times 0.05 = 50,000円$

研究経費（直接経費+間接経費）が1,000,000円の場合の間接経費の額は、47,600円となります。

$1,000,000円 \times 5 / 105 \div 47,600円$ （百円未満切捨て）

項目6. 2事業年度以上にわたる研究の場合は次年度以降の直接経費及び研究料の全体計画

この欄は、研究期間が複数年度で、上記の「5 研究に要する経費の負担額（総額分）」を年度毎に分割してお支払いになる場合に記入してください。（一括してお支払いになる場合は、記入の必要はありません。）

項目8. 企業等共同研究員

「所属・職」欄は、所属部署及び役職名を記入してください。

「派遣の有無」欄は、研究の形態が「ア金沢大学における共同研究」の場合は「有」を、「イ金沢大学及び企業等における共同研究」の場合は「無」を○で囲んでください。

項目10. 提供設備等

企業等から、本学への貸与設備がある場合に、設備の名称、規格及び数量を記入してください。

記入例：原子吸光光度計 ㈱〇〇社製 A100 1式

共同研究申込書

年 月 日

国立大学法人金沢大学長 殿

申込者

〒

住 所

企 業 等 名

代表者職・氏名

⑩

金沢大学共同研究取扱規程を遵守の上、下記のとおり共同研究を申し込みます。

記

1 研究の形態	ア 金沢大学における共同研究			
	イ 金沢大学及び企業等における共同研究			
2 研究題目				
3 研究目的及び内容				
4 研究期間	平成 年 月 日から平成 年 月 日まで			
5 研究に要する経費の負担額(総額分) (消費税及び地方消費税を含む)	直接経費		円	
	間接経費		円	
	研究料		円	
	合計		円	
6 2事業年度以上にわたる研究の場合は次年度以降の直接経費及び研究料の全体計画	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
	直接経費 千円 研究料 千円	直接経費 千円 研究料 千円	直接経費 千円 研究料 千円	直接経費 千円 研究料 千円
7 研究実施場所	金沢大学			
	企業等			
8 企業等共同研究員	所 属 ・ 職		氏 名	派遣の有無
				有 無
9 希望する研究担当教員	所	属	職	氏 名
10 提供設備等				
11 その他	担当者, 連絡先等			
	電話	()	—	
	FAX	()	—	
	e-mail	[]

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご案内

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会は、金沢大学先端科学・イノベーション推進機構の事業を支援し、金沢大学と産業界が地に足のついた産学連携と相互の日常的な交流を進めることを目指し設立された団体です。

会員企業の皆様の相互の意見交換のみならず、大学のイベント、広報物の情報を随時発信いたします。

また、会員企業の皆様に本学の学生並びに教員に対するご発表の場も設けさせていただいております。

今後は、会員企業様と大学の関係をより強化するため、研究シーズのご紹介や産学官に関するフォーラムのお知らせ等を積極的に行って参ります。

要項

【会員】 会員は本会の事業に賛同する法人または団体等とします。

【会費】 会費は、年会費一口3万円とします。

【設立】 平成13年7月

活動

- ・産学連携コーディネーターの支援強化
- ・技術相談の実施
- ・先端科学・イノベーション推進機構と共催し、セミナー・講演会の実施
- ・各種説明会の開催
- ・各種イベントへの参加
- ・企業等への見学、実情視察
- ・刊行物の発行
- ・その他

入会のメリット

- (1) 協力会HPでは、大学から企業様へのご案内（技術研究情報・イベント・セミナー等）だけではなく、企業様自身のイベント案内にもご利用いただけます。
※営利目的でのご利用はご遠慮ください。
- (2) 有益な公的資金情報をご紹介すると同時に、資金獲得に向け大学との連携の検討等を含め申請のサポートをいたします。
- (3) 会員企業様に対しては、各種のご相談を受け付けます。
ご相談には、誠意を持って対応させていただきます。お気軽にご相談ください。
- (4) 専門知識を必要とするご相談には、技術相談が有効です。最適な教員をご紹介し、対応させていただきます。
入会企業様には、技術相談の実費の一部を、協力会よりサポートさせていただきます。
- (5) 会員企業様HPをリンク掲載し、ご紹介いたします。簡単な企業PRも一文掲載可能ですので、お気軽にご相談ください。

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会事務局

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構内

Tel 076-264-6111 Fax 076-234-4019

E-Mail innov@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL <http://www.innov-kyouryokukai.com/>



(連絡先)

金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 (O-FSI)

〒920-1192 金沢市角間町

T E L: 076-264-6111

F A X: 076-234-4019

E-Mail: o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp

U R L: <http://www.o-fsi.kanazawa-u.ac.jp/>